

# 「私の主張」'04新潟県大会

中学生が日ごろの思いを発表する「私の主張'04新潟県大会」が、9月25日(土)に三条市中央公民館で開催され、佐渡地区代表として参加した赤泊中学校3年生の菊地弘香さんが、奨励賞を受賞しました。



民話のふる里「赤泊」から

佐渡市立赤泊中学校 3年 菊地 弘香

我が島「佐渡が島」。私はこの島が大好きです。私の住む「赤泊」は、江戸時代に佐渡奉行の上陸港として栄えるようになりまし。ところが、今の赤泊では生活用品をすべてそろえることができないほど、お店の数も人の数も減ってきています。

しかし、赤泊には、今もたくさん文化や伝統が受け継がれています。それは、赤泊に住む私たちの誇りでもあります。その一つに「民話」があります。赤泊の美しい自然と人情が、数多くの民話を育みました。そのうえに民話の絵本や主人公の銅像も沢山つくられています。地域にゆかりのあった人や動物のおもしろい話、悲しい話など、今も赤泊の人々によって大切に語り継がれています。

また、民話は、赤泊の公民館行事や小学校の文化祭などで、創作民話劇として盛んに上演されています。私は、その民

話の一つ「悲しい佐渡牛」に子供役で出演しました。その時は、まだ小学5年生だったので、自分のせりふを覚えるだけで精一杯で、話の内容まで考えることはありませんでした。

ところが、去年とてもよい機会に恵まれました。新潟県民文化祭の「創作演劇を観る会」で、「たがずが浜」を公演することになったのです。その劇に、地域の大人に混じって子役で私の弟と妹が選ばれたのです。出演者、スタッフ合わせて総勢百人の人が地域をあげて何か月も前から練習に励みました。

当日は、新潟まで、家族みんなで応援に行くことになりました。会場はとても広くて大きく、赤泊の人たちはうまく演じられるだろうか、少し不安でした。そのうちに、徐徐に照明が暗くなり劇が始まりました。

村の住民、与平さんの家の雌牛ハナが赤ん坊を生んだら。それを聞いた子供たちは、歌をうたいおほしやぎで与平さんの家へ行ったそう。あまりのかわいさに、子供たちは「すみれ」と名付け、みんなでかわいがってやったそう。

数日後、与平さんの娘が結婚することになった。ところが、お金に困ってあった与平さんに村の人がある噂をもつてきよったんじや。「寺泊の方では雌牛がとても高く売れるそうぞ。」

与平さんの娘は反対した。しかし、与平さんは娘のためにハナを売ろうと決意したそう。

ハナを売って何日か過ぎたころ、村人が海の向こうで何かが泳いでくるのを見た。よく見てみると、あのハナだ。わが子愛しさのあまりに、遠い海の向こうから必死に泳いできたんじや。村の人たちは、

「がんばれや、ハナ!!」と声をかけたり、その姿に涙する人もおつたそう。

私は、この最後の場面を観て、本当にハナが泳いで来ているように感じました。それほど、迫真の演技でした。周囲を見回すと、涙している人も何人もいて、私はとても言葉にはいえない感動を覚えました。大観衆を魅了する素晴らしい出来栄でした。民話の里「赤泊」よりも多くの県民の皆さんに知ってもらい、とてもよい機会となりました。

お互いを支え合うことが難しい今の世の中ですが、民話のおかげで、私たちの地域は、隣同士が声をかけあい、助け合って暮らしています。赤泊の人たちは、みんな優しく、心の広い人たちがばかりです。民話を愛する心がふる里を大切に思う心を育てているのです。

民話は、ただの昔話ではないのです。現代を生きる私たちに多くの夢と教訓を与えてくれます。人として生きていくうえで、守らなければならない大切なことや、今の社会に必要なことなどを時代を超えて語りかけてくれます。

民話を次の世代に残すために私のできることを。ふる里を思う心と夢を伝える語り部になること。民話の心を通して郷土の文化の発展に尽していきたいのです。

## 小木地区 公民館俳句講座近詠

子等送り独りにもどる夜長かな 綾子  
 塩害の頭首を垂れぬ稲穂かな いつ子  
 野牡丹の花びら二枚まづ散りぬ えみこ  
 子育てのいよいよ佳境夏あざみ 和子  
 けふ一日宇あまりのごと心太 記代  
 赤とんぼ空に吸はれて仏舎利塔 久美子  
 麻酔より覚めて夜長の始まれり 健吉  
 つんどのく谷間に鳴いてちろろ虫 五行  
 投錨の巨大「飛鳥」の秋日和 三郎  
 秋高し度胸定めて打つボール さわ  
 肩組んでポーズ取りをり祭鬼 ちづ子  
 退院の車窓いっぱい蝸雲 千ヨノ  
 半天連のお春紅蓮の曼珠沙華 貞次郎  
 よくひびく胡弓にはせ風の盆 富恵  
 ようやくに稲のぬくみや通しはざ 登茂子  
 折り畳む傘をバッグに秋日和 ハツ  
 あさがはの鮒をあらはに日照雨かな 比呂  
 一匹の蛇打ち落し満足す ひろむ  
 日焼けて軍手きらいな農夫かな 慶子  
 かつば橋渡りさらぬに夕立かな 淑  
 銀の玉ころがし芋の葉のあそび 六山

## 「近藤福雄賞」写真巡回展のお知らせ

8月に金井コミュニティセンターにおいて開催された、第4回佐渡国びエンナーレ「近藤福雄賞」写真展の巡回展を行っています。ぜひご来場ください。

会場／日本アマチュア秀作美術館  
 1階特別会場

会期／10月1日～11月3日  
 (小木みなと公園横)

入場料／無料

(巡回展会場のみ無料)